

数多くある絵本の中でも、食べものがでてくる絵本の人気はダントツです。様々なメニューをご用意しました。大人も子どもも一緒に召しあがれ。



ぐりとぐら

中川李枝子 / さく
大村百合子 / え
福音館書店

のねずみのぐりとぐらは、森へ木の実をひろいにでかけました。そこで見つけたのは、大きな大きなたまご。2ひきは、きいろくてふわふわの、とびっきりおいしいかすてらをつくることにしました。

ほかに『ぐりとぐらのおきゃくさま』などがあります。



おおきなおおきなおいも

赤羽末吉 / さく・え 福音館書店

おちやのじかんにきたとら

ジュディス・カー / 作 晴海耕平 / 訳
童話館出版



はらぺこのブタヤマさんがキャベツくんにあいました。キャベツくんを食べようとすると、「ぼくをたべたらこうなる！」とキャベツくん。空を見あげてみるとそこには……「ブキャ！」

ブタヤマさんはキャベツくんを食べることができるのでしょうか。

キャベツくん 長新太 / 作 文研出版

おばけパーティ

ジャック・デュケノワ / 作
大澤晶 / 訳 ほるぷ出版



サリーのこけももつみ

ロバート・マックロスキー / 文・絵
石井桃子 / 訳 岩波書店



ぼくのぱん わたしのぱん

神沢利子 / ぶん 林明子 / え
福音館書店

